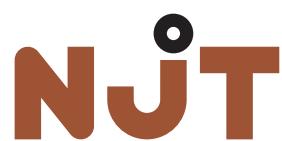


C O R P O R A T E P R O F I L E

会社案内



NJT銅管株式会社



長年の技術を活かした新たな挑戦

原子番号29、原子量63.546。銅は、人類がもっとも早く出会った金属と言われ、そのすぐれた特性により、古くから私たちの生活に密着してきました。現代では宇宙開発や情報機器などの先端分野でも重要な役割を果たしている、古くて新しい金属です。創業から今日まで、そしてこれからも私たちは、「流れ」を絶えず見つめながら、時代の「流れ」に合わせた熱交換器製品、アルミ内面溝付き管等の各種金属製品を生み出してまいります。

快適な社会生活を支える基盤となり
地球環境の改善に貢献します。

代表あいさつ

私たちは、明治30年の「住友伸銅場」開設以来、一貫して銅管を製造してきました。永年にわたる銅管製造の経験と研究開発で培ってきたテクノロジーを通じて、冷凍空調、給水給湯、エネルギーの3つの事業分野において常に時代を先取りし、ニーズを的確に捉えた製品、サービスをお客様にお届けすることで、わが国、ひいては世界中のインフラの発展に寄与してまいりました。

足元では、グローバル経済の発展、地球温暖化進行などの環境問題、これに対する低炭素・再生可能エネルギー社会実現への対応など、私たちを取り巻く事業環境は急激に変化しています。このような変化に迅速に対応するため、NJTグループは以下の経営理念を掲げ、行動規範を遵守してまいります。そこから得た“正しい利潤”を、研究開発、新規事業開拓、生産設備へ再投資し、従業員へ還元することにより、持続的な事業の発展を目指し、社会に貢献してまいります。



代表取締役社長
物部 哲郎

経営理念

熱交換関連製品の高機能化を追求するお客様の課題に対して、技術力・加工力で
応え、最適な製品・サービスを提供することで、従業員の幸福を追求するとともに、
快適な社会生活を支える基盤となり地球環境の改善に貢献する

NJT行動規範

- 感謝信頼：常に感謝の気持ちをもち、正直に、社内外の関係者と接することで社会
に信頼を築いていく
- 改善努力：地道な努力を厭わず、日進月歩の改善を積み重ねる
- 創意変革：日々変化する外部環境に機敏に適応するために、変革を嫌わず、新たな
発想でチャレンジする
- 果敢実践：勇気をもって、迅速果敢に変革を遂行し、成果をだす

NJT銅管 百年以上の伝統と歴史

1897

1897
住友本店が日本製銅株式会社を買収し、
住友伸銅場を大阪市の安治川に開設

1913

1913
住友總本店が住友伸銅所と改名

1921

1921
住友總本店が住友合資会社に改組し、
住友合資会社 伸銅所となる

1926

1926
住友合資会社から分離し、住友伸銅鋼管株式
会社が設立され伸銅所の営業権を継承



住友伸銅所安治川工場全景(大正年間)

写真提供:住友史料館

1930

1935
住友伸銅鋼管株式会社が株式会社住友製銅所
を吸収合併し、住友金属工業株式会社となる

1941

1941
名古屋軽合金製造所(名古屋市港区)設置

1947

1947
名古屋製造所を伸銅所と改称、
伸銅事業50周年記念式典を挙行

1952

1952
住友金属工業(株)に商号復帰

1959

1959
住友金属工業(株)の伸銅・アルミ部門分離、
住友軽金属工業(株)設立

1950

1960
住軽伸銅工業株式会社(愛知県宝飯郡一宮町、
現:豊川市)設立

1970

1975

技術研究所新設

1980

1985
住軽伸銅工業株式会社を吸収合併、同社工場を
伸銅所とする

1990

SUMIKEI (MALAYSIA) Sdn. Bhd.設立

1996

伸銅所(社)日本プラントメンテナンス協会より
TPM優秀賞第一類受賞、
技術研究所を研究開発センターに改称

1997

住軽(広州)金属有限公司設立

2000

2006
スミケイ銅管販売株式会社設立

2011

伸銅営業部門を含め、株式会社住軽伸銅へ分社化

2012

日立電線(株)国内銅管事業撤退に伴い、
設備・技術の一部を購入・譲渡・移管

2013

住友軽金属工業と古河スカイの統合によるUACJ設立
に伴い、商号を「UACJ銅管」に変更

2019

UACJグループから資本独立し、商号を
「NJT銅管株式会社」に変更

2020

2021
当社100%出資の連結子会社である
「NJT銅管販売株式会社」、
「NJT銅管パッケージ株式会社」、
「東洋フィーティング株式会社」、
「NJT銅管グリーンサービス株式会社」
を吸収合併

2021
マレーシア工場でアルミ事業立ち上げ

伸銅品・技術・製品の歴史

復水器用銅合金管チタン管(コンデンサーチューブ)

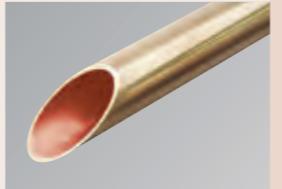
1932

復水器用「アルブラック管」の製造開始



1963

復水器用合金
「APプロンズ」管の
開発
(大河内記念表彰)



1952

チタンの研究開始

1970

チタン管の火力発電所への納入開始

1976

復水管用内面防食処理技術「APF」の開発

1981

復水器用チタン/黄銅二重管の開発

1982

チタン管の原子力発電所
への納入開始



2000

チタン二重管の原子力発電所への適用開始



2015

製糖装置伝熱管への銅合金管の販売量拡大

空調用内面溝付銅管(リップルフィンチューブ)

1976

平滑管

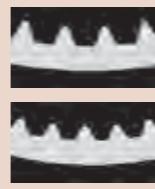
1979

内面溝付管「リップルフィンチューブ」
生産開始(AAタイプ)



1983

リップルフィンの高性能化(FFタイプ)



1987

リップルフィンの高性能化(FNタイプ)



1994

リップルフィンの高性能化
(ハイ&スリムタイプ)



1998

リップルフィンの高性能化
(高リード角タイプ)



2002

内面溝付き銅管用転造油を自社開発し、
低残油量と高潤滑性の両立達成

2003

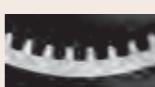
エコキュー向け厚肉タイプ量産開始

2006

CO₂冷媒を用いた伝熱管及び熱交換器性能評価装置導入

2008

リップルフィンの細径薄肉化
高強度銅管の量産開始



2014

蟻の巣状腐食対策銅管「DANT®」の量産開始

各種金属加工管、熱交換器、継手等

1933

水道用銅管の製造開始



1972

被覆銅管「プリゾール・チューブ」技術導入



1979

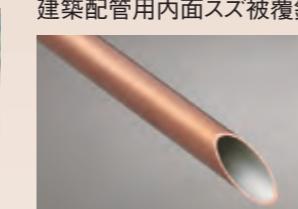
スポット溶接用電極材(CO8:ジルコニウム入
クロム銅)の販売開始

1984

銅製ヒートパイプの販売開始

1990

建築配管用内面スズ被覆銅管「STC」の開発



2006

CO₂冷媒を用いた伝熱管及び熱交換器性能評価装置導入

2009

CTシャットの量産開始(北海道限定品)

2012

サーモエクセルの量産開始
クロスローレットチューブの量産開始
エコキュー用水熱交換器の量産開始
CLTの量産開始

2018

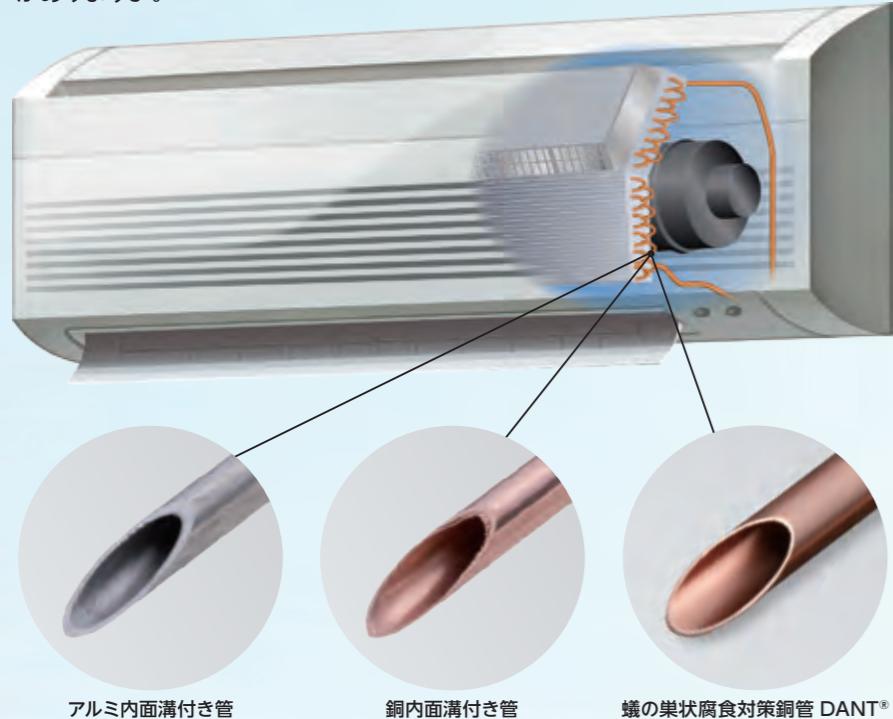
RGプレスの量産開始

暮らしに安心・安全をお届けします。

私たちは長年の経験に基づく技術を駆使し、素材特性を最大限に引き出すことにより、地球環境に配慮した、省冷媒化に対応する熱交換関連製品などの新製品開発を行っております。

エアコン用

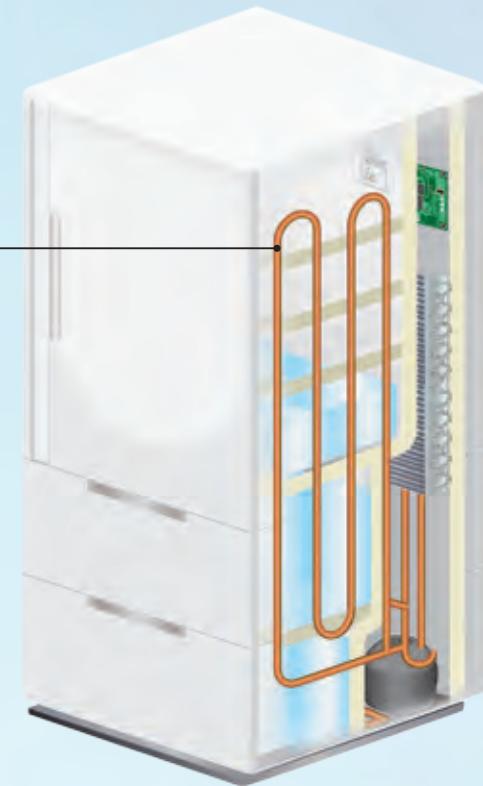
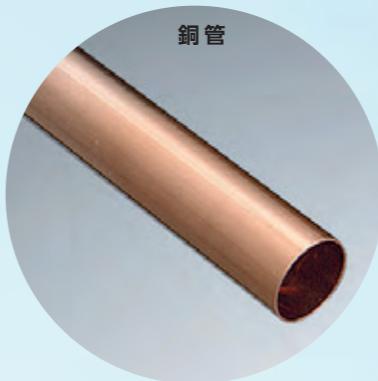
エアコン熱交換器には内面に螺旋状の溝が加工された伝熱管が使用されています。NJTグループの内面溝付き管は40余年にわたりお客様からの信頼を頂いています。さらにNJTは世界初の蟻の巣状腐食による冷媒漏洩を抑制する銅管「DANT®」の製品化、アルミ内面溝付き管の開発等、積極的に製品開発・技術革新を進めています。エアコン室内機のカバーをちょっと開けてみてください。そこにNJT銅管の製品がありますよ。



銅管の
最大生産量
(年間)

冷蔵庫用

日常生活には欠かせない冷蔵庫。冷蔵庫は熱交換器の冷却性能だけでなく、その信頼性が重要です。機器の寿命確保・信頼性向上にもNJT製品が役立っています。



約 48,000 トン

空調設備用

今や暮らしに欠かせない空調設備。ビルの裏舞台でもNJT製品が多く使われています。NJTの銅配管用継手供給は60年以上の歴史があり、その信頼性を高く評価頂いております。ビル工事現場で、作業者の技能に左右されることなく短時間で安全・確実な施工を実現するプレス式冷媒配管用火無し継手「RGプレス®」や、湯水各種ワンタッチ継手の製品化などを進めております。



自社製造のさまざまな伝熱管を利用し、ろう付などの銅管加工技術と熱交換器の設計力、評価技術を融合させ高性能な各種熱交換器を提供します。

銅管 STC銅管 STC(スーパー・ティン・コート)銅管は、特殊技術により、銅管の内面に均一な金属スズをコーティングした銅管です。銅イオンの溶出を極めて低く抑え、耐孔食・潰食性に非常にすぐれています。	熱交換器 軸受油冷却管(銅合金管) 水熱交換器 水冷リアクトルコイル サーモエクセル二重管	螺旋溝形状により内面溝付銅管と同等以上の熱伝達率が実現でき、アルミ押出ストレート溝付管よりも伝熱性能が向上できます。	銅管 アルミ内面溝付き管 アルミサーモエクセル管	世界各地の火力発電所や原子力発電所ならびに海水淡水化装置のコンデンサーチューブとして採用されています。
銅管応用製品 床暖房パネル 温水式床暖房パネルは、銅管に温水を循環させて、その熱を床に伝えるクリーンな暖房です。	フィンチューブ サーモエクセル バイメタルフィン ローフィン、ミドルフィン、ハイフィン クロスローレットチューブ	電極材・電気系材料 スポット溶接用電極材 C08 (ジルコニアムクロム銅) 自動車電装用モータ電機子 (コンミテータ)	銅合金管 APF管 銅合金管	ヒートパイプ ヒートパイプ ヒートパイプ式ヒートシンク
メディカルカラーチューブ 医療ガス配管用として製造した内面の極めてクリーンな銅管です。被覆フィルムを医療ガスの種類により色分けし、さらにガス名をプリントしているため、誤配管を防止します。				

世界に誇れる技術力があります。

明治30年「住友伸銅場」の開設以来、私たちは、一貫して銅管を製造してまいりました。

永年にわたる豊富な経験と研究により高品質な製品をお届けすることができる生産体制を確立しています。

NJT銅管では、新しい銅管の開発など常に時代を先取りし、お客様のニーズを的確にとらえた製品を製造してまいりました。

また、品質・性能のコストパフォーマンスにも注力しています。

铸造



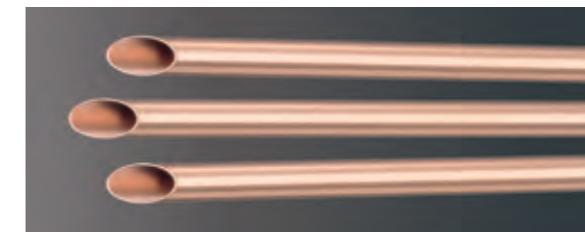
5000トンプレス



ブルブロック



スプーラー



リップルフィンチューブ(R/F)

溝を持ったプラグを銅管に挿入し、外周のボールを高速回転させながら押し付け、銅管内面に溝を連続的に加工します。

直管



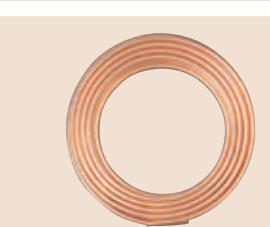
レベルワンドコイル(LWC)



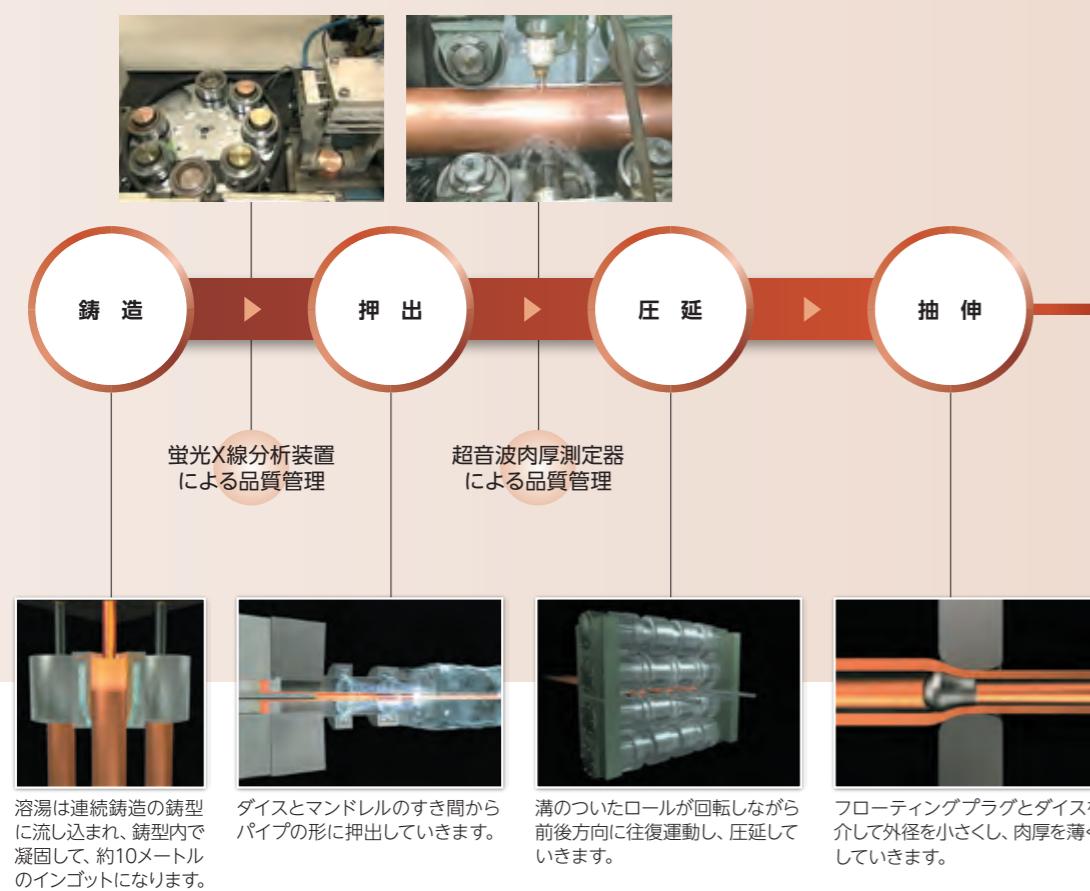
焼純により所定の機械的性質に仕上げていきます。



多層バンチ巻コイル(VOLT)



銅管・内面溝付銅管の製造工程

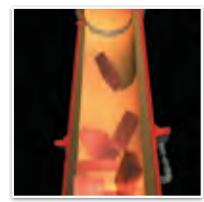


品質管理

NJT銅管では、お客様に満足頂ける製品をお届けするため、原料の地金から出荷に至るまでの全ての工程を通じて、コンピュータを用いた総合的な品質管理を行っています。



発光分光分析装置による品質管理



主原料である電気銅地金をシャフト炉で溶解し、溶湯にします。

铸造工程 鋳造時の化学成分管理 → 分析ロボットによるリアルタイムな成分分析

押出工程 押出素管の偏内管理 → 超音波肉厚測定器による全数・全長測定

仕上工程 有害欠陥の検出と除去 → 渦流探傷検査による全長自動検査

検査工程 材料強度の確認 → 引張試験機、硬度計等による機械的性質の測定

会社概要

社名 NJT銅管株式会社
NJT Copper Tube Corporation
設立 2011年10月
代表者 物部 哲郎
資本金 100百万円
株主 アスパラントグループ株式会社 75%
大和PIパートナーズ株式会社 25%
従業員数 約600名
事業内容 銅及びその合金の鋳塊・管・棒等並びに各種金属加工管・熱交換器・
継手などの加工品製造及び販売
本社 愛知県豊川市大木町新道100

グループ会社 NJT SOLUTIONS (MALAYSIA) SDN. BHD.
所在地 Lot P.T.630, Jalan Emas 1, Nilai Industrial Estate,
71800 Nilai, Negeri Sembilan Darul Khusus, Malaysia
TEL +60-6-7992130



本社・伸銅所

JIS H 3300、ISO9001・ISO14001認証工場です。

営業部
西日本営業室

継手・住設事業部
住設営業室 大阪住設営業グループ

営業部
東日本営業室

開発営業室

継手・住設事業部
住設営業室 東京住設営業グループ

継手・住設事業部
住設営業室 九州住設営業グループ

継手・住設事業部
住設営業室 名古屋住設営業グループ

TF工場

本宮センター / 飛島センター / 遠若センター
JIS H 3401・JWWA H 102・ISO14001認証、
JCDA 0001認定工場です。



本宮センター

地域コミュニティとのつながりを大切にしながら、
グローバルな調達力を活かし、最適かつ環境に配慮した商品を
提案・製造してまいります。



夏祭り



マレーシア拠点
NJT SOLUTIONS (MALAYSIA) SDN. BHD.

生産品目 アルミ内面溝付き管

NJT銅管株式会社

本社・伸銅所

〒441-1295 愛知県豊川市大木町新道100

TEL: 0533-93-2311 FAX: 0533-93-5119

営業部

東日本営業室・開発営業室

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-8-1 (茅場町一丁目平和ビル 5階)

TEL: 03-6631-9501 FAX: 03-6631-9509

西日本営業室

〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋4-2-16 (大阪朝日生命館2階)

TEL: 06-7639-1881 FAX: 06-7639-1882

継手・住設事業部

住設営業室

●東京住設営業グループ

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-8-1 (茅場町一丁目平和ビル 5階)

TEL: 03-6631-9507 FAX: 03-6631-9529

●名古屋住設営業グループ

〒455-0064 名古屋市港区本宮町1-27

TEL: 052-307-5866 FAX: 052-661-7100

●大阪住設営業グループ

〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋4-2-16 (大阪朝日生命館2階)

TEL: 06-7639-1879 FAX: 06-7639-1880

●九州住設営業グループ

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1-5-1 (博多大博通ビルディング 10F)

TEL: 092-436-8822 FAX: 092-436-8823

<https://www.njt-copper.com/>

